

AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学図書館報

第10号

図書館とラーマン式下着と私

意見箱への回答

中国学科関係資料紹介

INFORMATION

あらかると

編集後記

図書館とラーマン式下着と私 - あるいは共同研究者としての図書館 -

山名 淳 (本学助教授)

1997年9月12日、私はドイツのドレスデンにいた。10日間という短い海外研修のうちで、私が自由に時間を使える最後の1日だった。私がドレスデンを訪れたのは、ある網タイプの木綿製下着について調べるためであった。下着と教育学者。変な話である。

19世紀末に開発されたこの下着は、ドレスデン在住の考案者ハインリヒ・ラーマンにちなんで、ラーマン式下着と命名されている。私がどうしてこのパンツにこだわったのか。他にもなく、私が研究対象としているドイツ田園教育舎という学校で、当時の生徒全員がこのパンツをはいていた(正確には、はかされていた)からである。なぜこのような下着が作られたのか。教育とどのように関係するのか。そもそも、それはどのようなパンツなのか。ラーマン式下着をめぐる問題の学術的意義(?)については、現在執筆中の研究班論文集をご笑覧いただき、ご批判を仰ぎたいと思う。とにかく、今回滞在の拠点とした大都市ベルリンでいろいろな図書館をまわってみたが、ラーマンという人物、彼の考え方、そして彼が開発した下着については、多くはわからなかった。

こういうときには、考察対象にゆかりのある土地に直接行ってみるにかぎる。ドレスデンに行ってみよう。ベルリンからは列車で3時間ほどの距離

だから、それほど遠くはない。なにかわかるかもしれない。もし100年前に開発されたこのパンツが今なおスーパーにでも売っていれば、一枚買ってもいいな、とさえ思っていた。

ドレスデンで私に与えられた時間は4時間。それ以上は、次の日の帰国に支障をきたす。自然療法医であったラーマンが開設した巨大な療養所はすでに閉鎖されていた。旅行案内所、本屋、スーパーなど、街のあちこちでラーマンについて尋ねてみたが、ほとんどの人はラーマンの名前さえ知らない。ましてや、大方の予想どおり、100年前に開発されたパンツを販売しているところなどあるはずがなかった。

こういう旅は思わぬ成果を得ることもあるが、空振りも多い。仕方がない。あきらめて帰るか。そう思いはじめたとき、近くに衛生博物館(Deutsches Hygiene-Museum)があることを知った(あとでわかったことだが、それはドイツでも有数の衛生博物館だった)。ひょっとしたらラーマン式下着が展示されているかもしれない。あきもせずそんなことを考えて、博物館に足を運んだ。残念ながらパンツの展示はなかったが、博物館内に衛生に関する図書館があることを知り、さっそく中に入ってみた。

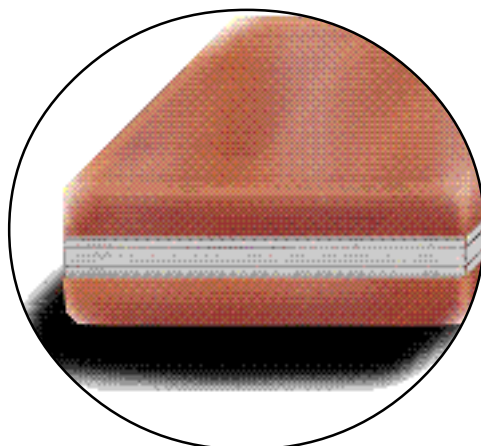
びっくりした。あれほど探し回ってみつからなかったラーマンの著作がほとんど完璧に揃っていたのである。時計をみると、私に残されているのはあと1時間半。すぐに図書利用者カードを作成してもらい、関係する書物を館内閲覧させてもらった。そのうちのいくつかはやはり重要だったので、なんとか日本へ送って欲しくないかと頼んでみた。当図書館は国際相互貸借(Internationale Ausleihe)のネットワークに加入していないので、だめだと一言。ならばと、残りの時間でできるだけコピーさせてほしい、と私。この望みは受け入れられた。事情を理解していただき、例外として職員用のコピー機とコピー・カードを使わせてもらった。一心不乱にコピーすること1時間。手元には、さしあたり十分なだけの複写文献。図書館の方々に感謝を示した後、ベルリン行きの列車に乗るために駅に一目散に駆けた。車中で、複写したての暖かく、トナーの匂いのする紙を一枚一枚めくった。かくして、数時間の間に私は、ラーマン式下着について世界で最もよく知る教育学者となった。

困ったとき、私はよく図書館に助けられる。今回だけではない。学生時代に留学していたフンボルト大学の図書館もそうだが、それ以上にお世話になった図書館もたくさんある。例えば、1611年以来の伝統をもつベルリン国立

図書館(Staatsbibliothek zu Berlin)。第二次大戦後のドイツの分裂と統合の歴史を刻み込み、ベルリンの西と東に建物を有するこの図書館は、書籍・雑誌・新聞あわせて約 842 万 8 千冊の蔵書をもつ。東の図書館で検索した結果、西の図書館にあることが判明したなどということはよくあることだ。何度西と東の図書館を往復したことか。それから、教育史研究図書館(Bibliothek für Bildungsgeschichtliche Forschung)。冷戦中に東ドイツに属していたこの図書館は、統一後図書の流れが一部で懸念されたが、現在、教育に関する蔵書を中心に 67 万 6 千冊揃えたドイツ教育史家の宝の山となっている。

田園教育舎に関していえば、ビーバーシュタイン校 (Hermann Lietz-Schule Bieberstein) の資料室に関連資料が約十畳ほどの部屋にいっぱい詰め込んである。なかには段ボールに入ったままのものもあり、「何でこんなところにしまってんだよ」という言葉を思わず飲み込んでしまう。また、今度是非訪れたいところも多い。例えば、ドイツ青年運動資料館(Archiv der Deutschen Jugendbewegung)がそうだ。1922年に設立されたこの資料館には、19/20世紀転換期に開花した改革教育運動や生活改革運動などに関する豊富な資料がある。小高い丘の上にそびえるルートヴィヒシュタイン城の中にあるこの図書館には宿泊施設もあり、数カ月単位、いや1年単位で滞在してみたい。いろいろあげればきりがなし。個々の図書館について詳しく紹介することは別の機会に譲りたい。とにかく、図書館は共同研究者だと私は思っている。

ところで、ラーマン式下着。結局、ドレスデンではお目にかかることはなかった。あわよくば持って帰りたい。そういう気持ちがなかったわけではない。だが、それでよかったかとも思う。おかげで、学会の席上で、「これがその現物です」と高く掲げずにすんだ。



学科関係資料紹介

[中国学科]

「東洋学文献類目」

(京都大学人文科学研究所附属東洋学文献センター編・発行：1934年度～)

<請求記号 N220.03-B-1-34 ~ 94>

日本語や英語の本なら、学術情報センターのWEBCAT(<http://webcat.nacsis.ac.jp>)を見れば、日本語の論文であれば、「雑誌記事索引」を見れば必要な論文がさがせます。しかし、現時点では中国語で書かれた資料をカバーしていません。

そこで、中国語で書かれた論文・単行書を、その内容(テーマ)で検索することのできるツールを紹介します。

上記の資料がそれで、人文科学に関する論文・単行本を記載しています。本学の分類(日本十進分類法)では、0～3, 7～9類にあたります。

記載のうち、日本語と中国語の論文・単行書は、京都大学が所蔵している資料がほとんどですが、京都大学の中国・東洋学関係の蔵書量は日本有数なので、充分利用に耐える資料と言えます。ただ、年度毎に冊子となっているので、刊行年に関係なく検索する際に何冊も見ることがあるのが、難点と言えます。

さて、その内容ですが、(1)日本・中国・朝鮮文と、(2)Western Languages に大別されていて、各々がさらに、論文と単行書に分かれています。各論文・単行書の配列は、記載の分類表の順になっています。分類表の中から自分のテーマに相当する項目を探して、該当するページのなかから必要と思われる論文・単行書を見つけてください。

また、(3)著者名索引もついています。日本人であれば、読みか漢字の画数順、中国人なら漢字の画数順で検索できます。人名の後の数字は、通し番号です。1979年度以降は、5桁なら、(1)和・中・朝の資料、4桁なら(2)欧文の資料になります。1978年度以前は、通し番号の字体のちがいで区別されています。

ちなみに、1934年度から刊行されていて、「東洋史研究文献類目」(1934～1960年度)、「東洋学研究文献類目」(1961～1962年度)と改称を経て、1963年度以降、現在の書名となっています。

本学には、1934年度のものから揃っていますので、どうぞ使ってみてください。

(図書館 柿本匡晶)



あ ら か る と

—本学教員執筆図書収書情報—

次の図書は1997年に出版された本学教員の著作物で、いずれも図書館に所蔵しています。一度興味のある方は手にとってご覧下さい。もちろん事典・辞典以外は貸出可能です。順不同ですのでご了承下さい。

開かれた作品/ウヰル・エーゴ著;篠原資明,和田忠彦共訳--新版	青土社
イタリア絵画史/ウヰル・ロギ著;和田忠彦,丹生谷貴志,柱本元彦訳	筑摩書房
フェルナンド・ペロ最後の三日間/アントニオ・タッパ著;和田忠彦訳	青土社
二重の炎:愛とエロティシズム/カズオ・オハラ[著];井上義一,木村榮一訳	岩波書店
オースカ・ワイルド 事典:イギリス世紀末大百科/山田勝編	北星堂書店
民族世界地図 / 浅井信雄著	新潮社(新潮文庫)
マカオ物語/浅井信雄著	新潮社(新潮選書)
されど、神戸 / 浅井信雄編著	近代文芸社
英米法における信認関係の法理:イギリス判例法を中心として/植田淳著	晃洋書房
複文 / 益岡隆志著	くろしお出版(新日本語文法選書2)
文法/益岡隆志[ほか]著	岩波書店(岩波講座言語の科学5)
現代教育心理学 / 米澤富士雄,足立正常,倉盛一郎編著	北大路書房
アクセント・イントネーション・リズムとポーズ / 国広哲弥,廣瀬肇,河野守夫編	三省堂
「自己」の遠さ:コントラット・ジヨイス・ウルフ/御輿哲也著	近代文芸社
はじめてのテノ語/大西英文著	講談社(講談社現代新書)
琉球官話課本 / 瀬戸口律子,佐藤晴彦著	大東文化大学東洋研究所
中国語表現のホイント99/張黎,佐藤晴彦,内田慶市著	好文出版
時事英語情報辞典 / 笹井常三,北畠霞,山田侑平,引野剛司編	研究社出版

意見箱への回答

Q . 1・2年生の貸出冊数上限5冊を増やしてほしい。常時無理でも夏休み前に限って7冊位にできないでしょうか。

A . 卒論作成等、特別な資料収集をされない限りは2週間で5冊という上限は、他大学図書館と比較してもほぼ適正な数字と考えています。夏休み前の貸出についてはご要望に沿えるかどうか検討します。なお、3・4年生になれば、全員、常時2週間で10冊借りることができます。

INFORMATION

1. 雑誌検索マシンの新設について

OPACの間にあるノートパソコンで雑誌類の検索が可能になりました。検索対象は和・洋・中国語・ロシア語雑誌、大学紀要の全タイトル5,000件余りです。マシンの側の『雑誌検索マシン使用の手引き』をよくご覧の上、ご利用下さい。

2. 携帯電話・ポケットベルの館内での利用禁止について

図書館は勉強するための場です。携帯電話・ポケットベルの呼出し音・会話は、他の人の

迷惑となりますので館内での利用はご遠慮下さい。

3. 年始から年度末にかけての開館時間・閉館日について

(1) 大学入試センター試験日の閉館について

1月17日(土)は大学入試センター試験のため閉館します。

(2) 後期試験期の開館時間の延長について

1月21日(水)から2月17日(火)まで、開館時間を9時30分まで延長します。ただし、貸出、返却、書庫資料の閲覧等のカウンター業務は平常どおり、午後9時までです。ご注意ください。

(3) 春季休暇中の開館時間と休館日について

開館時間

月曜～金曜 午前9時～午後4時30分

休館日

毎週土・日曜日

2月20日(金)(館内整理日)

2月25日(水)(前期入学試験)

3月12日(木)(後期入学試験)

3月20日(金)～4月5日(日)

(蔵書点検期)

4月7日(火)(入学式)

4. 今春卒業する方へ

(1) 今春卒業予定者の最終返却期限について

今春卒業予定者の貸出資料の最終返却期限は2月27日(金)です。この期限までに返却されない場合は、返却するまで卒業証書をお渡しできません。

(2) 卒業後の図書館の利用について

卒業後も図書館を利用することができます。利用の際はカウンターに申し出て下さい。資料の閲覧と複写ができます。また、住所を証明するものがあれば貸出も可能です。

(3) 図書館カードの返還のお願い

図書館カードは卒業までにカウンターにお返し下さい。卒業後、図書館を利用されるとき手続きが簡単になります。

5. 春季特別貸出の実施について

従来実施していなかった春季特別貸出を、今年度より下記のとおり行います。帰省前に図書館へどうぞ。

長期貸出期間: 2月2日(月)～3月19日(木)

返却日: 4月16日(木)

貸出冊数: 通常と同じ

ただし卒業予定者は上記の期間中でも返却日は通常通り

(学生2週間、院生4週間)で最終返却期限は2月27日(金)です。

6. 展示台の利用の再開について

展示台? 何、何だろう? と疑問に思われる方も多いかと予想されますが、北の中心に存在する常に空のガラスの中心なのです。数年前までは、先生方へお願いして貴重図書の解説を書いていただき、貴重図書の展示を企画しておりましたが、今回は図書館司書が順次資料を紹介・展示していきます。図書館をご利用の際にはどうぞご覧下さい。再開第1回目は1月から英米学科の資料です。

7. 新着図書コーナーの設置について

従来は新着書を置くスペースがないため、掲示板の新着図書コーナーに分野別の新着図書リストを掲示しておりましたが、すぐに書庫に配架される中国語・ロシア語・英語・ドイツ語・フランス語図書のためにも従来の開架用ロシア語・中国語図書コーナーを新着図書コーナーとしますのでどうぞご利用下さい。





編集後記

いまさら使い古された言葉ではありますが、大学はいま、大きく変わろうとしています。いや、大学だけが変わろうとしているのではなく、日本国内の制度的なシステムなり、その拠って立つ理念そのものが行き詰まって来ていると、誰しも感じている昨今ではないでしょうか。情報化社会における大学図書館も多種多様なメディアを扱う、メディアセンタ - としての役割を果たすことが求められています。紙メディアによるこうした図書館報が、一日も早く、WWWに代表されるマルチメディアによる情報発信により、図書館利用者との距離が一步でも近づけますよう、新しい年を迎えて図書館は努力したいと考えます。

(編集責任者 : 図書館事務長 荒井 裕)

AD ALTIORA SEMPER No. 10

神戸市外国語大学図書館報

1998年1月12日発行

編集・発行 : 神戸市外国語大学図書館

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1

発行責任者 : 図書館長 原田 松三郎